

チーム名	KCS1 (ケイ シー エス イチ)
アプリ名	Yao(ヤオ)
アプリ概要	<p>薬の服用管理アプリです。アプリ名のYao(ヤオ)は中国語で薬という意味です。 いつ・何を・どれだけ飲んだか、副作用と医師・薬剤師からの注意事項を(細かく)記録できます。 メインターゲットは、服薬している人(細かく自分の体調を管理したい人)たちです。このアプリを使う事によって利用者は自分の体調を把握し、いざという時に医師・薬剤師に相談することができるので治療の見通しができてほっと心が軽くなります。</p> <p>このアプリの競合アプリは、お薬ノートやマックス-ピルリマインダー、ルナルナアプリです。こだわった点はメモ機能でメモの欄でより細かく記述できるように広く領域を取り、難しい操作なしの直感で使えるシンプルなレイアウトを意識しました。</p> <p>(アプリ画面5・6枚目)服用する薬の名前・量・服用期間などを入力し登録すると、カレンダーに登録した薬が表示され服用ボタンを押すとその日に特定の薬を服用したことが記録されます。</p> <p>(アプリ画面6枚目)カレンダーではメモを赤色の○印で表示し、薬は紫色の△印で表示して分かりやすくしています。</p> <p>(アプリ画面7枚目)メモを表す赤色はカレンダー上で服用期間中に線として伸びていきます。</p> <p>(アプリ画面8枚目)メモを消去してもその日数にメモを記録していた履歴は残り白い線でカレンダー上に表示されます。</p>
アプリ画面	



コンテストへの意気込み

チャレキャラは今回初参加でした。(チーム全員)アプリ開発は予想以上に分からないことだらけで、チーム開発はもっと分からないことだらけでした。資格試験や就職活動が慌ただしく進むのに反して、滞る開発に投げ出されたい時が何度もありました。チーム内でのやる気・知識・開発環境の差や役割分担の偏りが重なり気持ちがバラバラになったこともありました。それでもメンターさんや周りの皆さんの支えにより、お互いの状況を理解し妥協点を作ることで乗り越えることができましたと思っています。

そんな中、アプリ開発の終わりが見えず間に合いそうにないとなった時、私たちはこだわりたい機能を優先して取り組むと話し合いで決めました。今回、(最後まで)こだわったメモ機能、自分の体調変化や医師等からの注意事項を細かく記録できる機能はユーザー側になって考え、今の私たちの実力で出来る限りの開発にのぞみました。

スケジュール管理や効率的な作業の仕方の模索など悔しい事はたくさんありましたが、経験で学んだことは次の開発に活かしたいと思います。そんな思いで取り組んだチャレキャラは多くの行動のきっかけになりました。メンバーはチャレキャラをきっかけにPCを購入しプログラムの参考書を買って勉強する習慣ができました。開発への壁が低くなり他の事にも挑戦してみようと思うようになりました。

最後に今回のアプリ開発は服薬しているすべての人たちの心をほっと軽くする手助けになるようなアプリを作りたいという思いで開発を進めてきました。チャレキャラは思いを形にする難しさと楽しさを経験できる貴重な機会だったと思っています。ぜひ次回も挑戦したいです。